

母島における再生可能エネルギー100%電力供給 実証事業に関する協定の締結

- 1年のうち半年程度、太陽光発電のみでの電力供給を行う実証事業の円滑な実施に向けた協定
- 都・小笠原村・東京電力3者の役割や連携事項を規定
 - ・ (都と村の役割) 太陽光パネルの設置場所となる土地の提供等
 - ・ (東京電力の役割) 太陽光パネルの設置・運用 等
 - ・ 地域住民への説明・理解促進等については3者で連携して実施

実証事業の実施に向けた今後の進め方など

【事業のメリット】

ディーゼル発電への依存低減により、排気ガス・CO₂の削減、エネルギーセキュリティの向上などのメリット

【今後の進め方】

- 貴重な自然や景観に十分配慮しながら、事業計画を慎重に検討
(来年1月から自然環境調査を実施)
- 2022年度末から実証を開始予定



母島